



日本語講師（非常勤）募集

【このような方を求めています】

一人一人の学習者を対等な存在として認め、共に成長しながら指導してくださる方を歓迎します。現在当校では「Google for Education」を活用した日本語教育・授業を行っており、今回クラス増設のため、オンラインでの授業にも対応できる方を求めています。ICT を活用した教材作成やオンラインでの授業運営のご経験のある方はぜひご応募ください。

以下の(1)(2)(3)のいずれかの要件を満たす方が原則として対象となります。

- (1) 学士以上且つ 420 時間以上講座（文化庁届出受理講座）修了
- (2) 日本語教育能力検定合格
- (3) 大学の日本語教育に関する主専攻または副専攻修了

【本校について】

留学生の生活と勉学を 60 年以上にわたりサポートしてきた公益財団法人アジア学生文化協会が 2014 年 4 月に開設した 2 つ目の学校です。マレーシア、中国、香港、モンゴル、台湾、タイ、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、トルコ、ドイツ、アメリカなど、様々な国の学生が集まり、学びの雰囲気にあふれています。

また、オンラインコース、短期コース受入れ、大学等の受託講座、教材開発などもあり、ご相談の上、担当していただく場合もあります。

3 ページ目に、大学院日本語教育研究科の学生の皆さんが授業見学をした時のレポートの一部を掲載しています。よろしければご覧ください。

【募集内容】

募集人数：2～4 名程度

勤務内容：日本語のクラス授業（教室・状況によりオンライン）2023 年 4 月から週 1～3 日程度
原則、月～金、相談により土日

- (1) 午前 8:30～13:00（45 分×4 コマ／授業前後の面談・質問等含む）
- (2) 午後 13:00～17:30（45 分×4 コマ／授業前後の面談・質問等含む）

*新コースの設置等により上記時間枠とずれる場合があります。

当初 2024 年 3 月までの契約（試用期間 3 か月）。更新の可能性あり。

待遇：1 コマ（45 分あたり）2,000 円～ 経験、能力により加算
（授業未経験の方は 1 コマ 1,700 円～）

補習、面接練習などを依頼する場合は、別途業務手当あり

2023年度 ABK 学館日本語学校 日本語講師（非常勤）募集要項

クラス担当（担任）の場合はクラス担当手当あり
有給休暇あり（法定どおり）

交通費：出勤の場合、往復 2,000 円まで実費支給

応募方法：6月28日（水）までに下記のリンクより google フォームでご応募ください。
ただし随時面接、決まり次第締め切ります。

応募フォーム : <https://forms.gle/RIDKIDP9KDwSr5NT7>

選考：第1次 応募フォーム

第2次 履歴書

第3次 面接と模擬授業

* 1次審査を通過した方に限り、メールにてご連絡致します。

研修：採用後、必要に応じてトレーニングを実施します。

本校が実施する勉強会、研修会にも参加できます。

【問い合わせ先】

学校名：学校法人 ABK 学館 ABK 学館日本語学校 H P : <http://www.abk.ac.jp>

住 所：113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

最寄駅：都営三田線千石駅徒歩 3 分・JR 山手線駒込駅・巣鴨駅徒歩 15 分

連絡先：T E L 03-6912-0756 F A X 03-6912-0757

E-mail : recruit.abk@abk.ac.jp

担 当：石井利江子・村松

【大学院日本語教育研究科の学生の皆さんが授業見学をした時のレポート】

決して、ここにあげられたようないいことだけというわけではありません。

しかし、全体として、このような雰囲気を持った学校です。

この学校を、さらに発展させるための仲間として参加してくださる方を歓迎します。

<学校全体の印象>

- ・学校内部も明るく、清潔感があって、心地よかった。（6月2日 Aさん）
- ・周囲も静かで環境的にも勉学に恵まれているなど感じました。（6月8日 Eさん）
- ・建物全体がバリアフリーになっているところも、様々な学習者に学ぶ機会を与えていくうえで大切なことだと思った。

校舎に入ると授業前に学生と教師が話していて、学生と教師の距離が近いと感じた。日頃の授業で信頼関係が築けている証だと思った。（6月9日 Oさん）

- ・学習者がとても活発に発言していて、明るく、真面目な学生が多かったように感じます。校舎も清潔で広く、開放感がありました。（6月15日 Uさん）

<授業見学で気づいたこと>

- ・学生同士、特に異国間の生徒同士の繋がりが強いことは、授業での活動や学校全体の雰囲気作りに貢献していると考えられる。（6月2日 Aさん）

- ・国別に固まらず、分かれて座席が配置され、活発なグループワークが可能。

学習者が基本的学習態度を身に付けていること(授業に集中し授業中の携帯使用・私語がない。グループワークに積極的に関わる、休み時間にも日本語を使用している)

「学びたい」という視線の中で授業ができるというのは羨ましい限りである。（6月8日 Eさん）

- ・見学させていただいたクラスは、学生同士の仲が非常に良いように見受けられた。それぞれの個性を尊重し合っている感じがした。「一緒に学ぶ」という姿勢を持っている学生が多いように感じた。とても生き生きと学習に取り組んでいるように見受けられた。

全体を通して教師は常に「社会と自分(学習者)とを引きつける」ことを意識して授業を設計していたと思う。社会に存在する一人間として、学習者が考え、考えを日本語で発信していくようにする仕掛けが、授業にふんだんに盛り込まれていたように思う。（6月9日 Oさん）

- ・地域の人が定期的にクラスに入っているようで、学生も、ボランティアの人と話すことに慣れているようだった。学生は日本語を話す機会、日本人と話す機会が多くなり、教室外でも自信を持って日本語が話せるようになって感じた。学生のミニ作文を見せてもらったが、いろいろな内容で書かれていた。内容も自分にひきつけたものが多く面白かった。（6月12日 Fさん）

- ・クラスの雰囲気がとてもよく、明るく活発で、発言もたくさん出ていて、楽しい授業でした。授業中、学習者が寝たりスマートフォンをいじったりしないのはもちろん、きちんと授業に集中していたのは、授業そのものが面白く、また上手く注意をひきつけていたからだと思います。（6月15日 Uさん）

以上